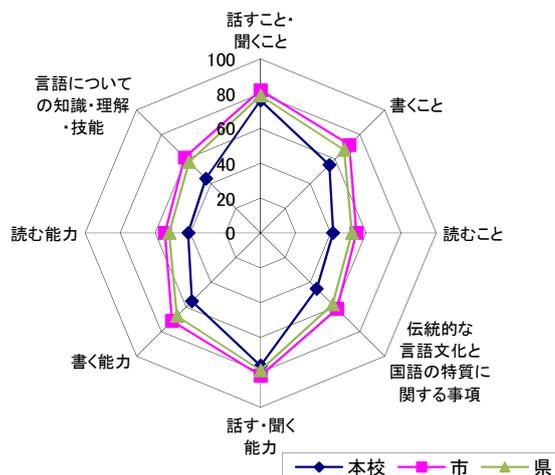


宇都宮市立上河内東小学校第5学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	76.2	82.0	78.9
	書くこと	55.4	71.5	67.4
	読むこと	41.3	54.6	52.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	45.2	61.7	58.1
観点	話す・聞く能力	76.2	82.0	78.9
	書く能力	55.4	71.5	67.4
	読む能力	41.3	54.6	52.1
	言語についての知識・理解・技能	44.1	61.3	57.7



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	<p>○話の中心に気をつけて聞くことについての正答率は、市の正答率と変わらなかった。</p> <p>●司会者の話し合いの進め方の工夫についての理解は、市の正答率を14.7ポイント下回った。</p>	<p>・話の内容の大まかな理解はできるようなが、話し手の工夫点など細かい内容の理解が苦手な児童が多いことが分かった。討論会などの話し合いの場面で、工夫点や効果的な言語表現についての確認や指導を行っていききたい。</p>
書くこと	<p>○正答率75～100%の児童が半数近くいた。</p> <p>○自分の意見を明確に書くことができる児童が比較的多い。</p> <p>●正答率0～37.5%の児童が半数近くいた。</p> <p>●指定された字数や段落構成を満たしている解答が50%未満だった。</p>	<p>・指定された形式で作文を書くことについて、書く力がついている児童とついていない児童に二極化されていることが分かった。決められた字数や段落の構成を守って作文を書く機会を作り、基本的な作文の書き方が身に付いていない児童に改めて指導していききたい。</p>
読むこと	<p>○説明文の内容の理解についての正答率は、市の正答率と同程度であった。</p> <p>●物語の内容の理解や図と話し合いの内容を関連付けた理解については、市の正答率を20ポイント程度下回った。</p>	<p>・物語の読み取りの際、場面の様子や変化、登場人物の気持ちなどについて、叙述を基に捉えていくことを押さえる。</p> <p>・音読の宿題、読書活動の推奨を継続的に行っていく。</p>
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<p>○慣用句の使い方、漢字辞典の使い方の理解については、ほぼ市の正答率と同じであった。</p> <p>●漢字の読み書きと修飾語の理解については、市の正答率を大きく下回った。</p>	<p>・漢字の読み書きについて、授業や宿題での反復練習を積み重ねるとともに、定期的にテストを行うことで定着を図っていききたい。</p> <p>・修飾語については、日頃の国語の授業の中で、主語・述語も含めた基本的な文の構成の確認を行っていききたい。</p>